

# 事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38394
事業名	札幌市民防災センターリニューアル費					
評価担当課	所属名	消)総務部 総務課				
	課長名	戸部 豊	担当者名	塚田 啓	電話番号	215-2010
施策名	主	災害に備えた地域防災体制づくり				
	副					
アクションプラン	● 対象      ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象      ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費      ● 臨時的経費					
	○ 内部管理      ○ 法定経費      ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営      ○ 一部委託      ● 全部委託      ○ 補助助成      ○ その他				
	目的	短期	一部体験コーナーをリニューアルすることで来館者数を増やし、市民の防火・防災意識を向上させる。			
		長期	市民の防火・防災意識の向上により、火災時や大規模災害時に市民が適切な行動をとることで、死傷者数を減少させる。			
	取組内容	近年、北海道胆振東部地震をはじめとする大規模地震がたびたび発生しているほか、「平成30年7月豪雨」や「令和元年東日本台風」など、深刻な人的・物的被害をもたらす大規模災害が頻発しており、その態様も気候変動の影響により多様化、激甚化している。 このような中、札幌市民防災センターの「防火・防災に関する学びの場」としての役割は益々大きくなっており、継続的に市民の防火・防災意識を向上させる必要がある。このことから、令和5年3月に開館20年を迎えるにあたって、老朽化している一部体験コーナー等のリニューアルを行い、実践的で臨場感溢れる体験施設にレベルアップさせる。				
実施結果	公募型企画競争により業者を選定し、契約を締結した。					
事業実施における工夫点	市民の防火・防災意識の向上に繋がる施設となるよう適宜調整を図っている。					
対象者	市民	開始	令和2 年度	終了	令和4 年度	
関連法令・条例・要綱等	無し					
他都市の状況	さいたま市防災センター、横浜市民防災センター、京都市市民防災センターが20年を目処にリニューアルしている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	0	0	0	52,000	
うち特定財源	0	0	0	38,000	
人工	0.0	0.0	0.0	0.4	
人件費	0	0	0	2,880	
計(事業費+人件費)	0	0	0	54,880	
事業費の内訳	令和3年度決算	令和3年度執行なし			
	令和4年度予算	・リニューアル設計・工事費 51,590,000 ・端数調整 410,000			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	企画競争入札の業者の選定			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	-	選定	選定	-	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	リニューアル施設数(令和4年度に6施設)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	3	3	3	6	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	公募型企画競争により業者の選定を行うことができた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	事業規模は、老朽化が進んでいる体験コーナーのリニューアル及び既存施設を活用した新コーナーの設置等としており、最低限の規模で最大限の効果を発揮できるよう調整していることから妥当であると考えている。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	公募型企画競争により業者を選定したことにより、一定のコストで質の高い業務を実施できるため実施手法は適切と考えている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	事業終了は令和4年度となるので、まだ市民の反応は伺えていないが、市民の防火・防災意識の向上に繋がる施設となるよう適宜調整を図っている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外    市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	なし				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	公募型企画競争により業者の選定が完了し、必要な調整が図れているため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善    ○ 現状維持    ● 休止・廃止 今年度で終了する事業であるため。			
	予算	○ 拡充    ○ 現状維持    ○ 縮小    ● その他 なし		見直し効果額 0 千円	